

JF大分

水産おおいた

発行元 大分県漁協

<http://www.if-oita.or.jp/>

要望項目と新規事項

令和5年度 政策と予算を要望

台風被害対策を緊急提言

大分県漁業関係団体漁政推進本部(中根隆文代表)は29日、自民党大分県連に対し令和5年度における国・県の政策と予算確保を要望した。

内容は九州・山口地区の漁連、漁協の共通の要望に県漁協の独自の要望を加えた13項目。急遽台風14号被害への対策支援を加えた。(▽3面)



山本勇前組合長 受章記念祝賀会

5日、大分市内のホテルにおいて盛大に開催されました。(▽2面)

1 漁業生産活動の低迷に対する漁業者及び漁協等へ支援対策

漁船漁業の経営継続に資する漁業緊急保証対策等の新たな資金繰り支援制度の創設

2 改正漁業法等への適切な対応

TAC魚種拡大により減収が生じた場合の、新たな影響緩和対策の実施

3 第43回全国豊かな海づくり大会開催を契機とした新たな水産振興プランの策定

2巡目大会を契機に水産業の再興を図るため、環境の変化と時代の要請を踏まえた「新たな水産振興プラン」の策定と実践



不漁が続く漁船漁業には資金繰りの支援が必要

3面 台風避難で養ブリ大量死



水研だより



4面



5面



6面



7面



4 栽培漁業の推進(継続)

浜の活力再生・成長促進

交付金の確保(継続)

5 漁業用軽油引取税の免税恒久化(継続)

赤潮対策

7 「ドローンを用いた上空監視の実用化」など新たな技術開発の推進

8 漁場保全の推進(継続)

9 豊かで美しい瀬戸内海の実現

ブルーカーボンの取組を推進するため、水産資源の保護・培養にも資する藻場造成に対する国・県の強力な支援



シエルナースを中心に海藻が繁茂

10 ALPS処理水の海洋放出に伴う風評被害の防止と持続可能な漁業の実現

持続可能な漁業の実現に向けて創設される新たな基金による、生産・流通対策等の実施

11 養殖業の成長産業化

ヒラメ等の陸上養殖が「積立ぷらす」に加入できるような制度の見直し



日本一の生産量を誇る陸上ヒラメ養殖

12 漁業就業者対策

新規就業者の着業後フォローアップ対策研修の実施や一定期間の所得補償制度の制定

13 監査制度変更への対応

会計監査人監査への移行に伴うコスト増への支援と検査制度の見直し

山本前組合長の祝賀会 盛会

「旭日小綬章」受章記念に百人超

本年春の叙勲で「旭日小綬章」を受章した山本勇前組合長の記念祝賀会が5日、大分市内のホテル日航大分オアシスタワー「孔雀の間」において開催された。コロナ禍に加え台風11号の影響も懸念される中ではあったが、知事や国会議員、全漁連会長をはじめ九州・山口各県の水産団体の長など1000人を超えるの関係者が顔をそろえ、山本氏の受章を称えた。

山本氏は昭和39年に真珠養殖業に従事し、モシヤコ採捕漁業を経てブリ等の魚類養殖業を

営んできた。平成3年には県かん水養殖協議会の初代青年部会長に就任、漁場環境の保全や赤潮対策に力を入れ、

本県養殖業の振興・発展に貢献した。



(右) 広瀬知事による祝辞
(上) 孫から花束を受ける
山本ご夫妻



乾杯の首頭をとる
田中佐伯市長



(左) 来賓(右から)
広瀬知事、岩屋代議士
衛藤参議、衛藤代議士
坂本全漁連会長



万歳を三唱する
阿部自民党県連会長



発起人(右から)
中根組合長
戸高理事
橋本委員長

平成元年には下入津漁協の理事、10年には同組合長を務め、11年には県信漁連理事、そして14年には県漁連の監事を務めた。さらに、14年に県下27漁協が合併して誕生した大分県漁協の理事に就任し、16年から令和3年までの16年9カ月の長きにわたり代表理事組合長の重責を果たし、本県漁業の発展に尽力した。

この間、関係団体の多くの要職に就き平成25年には全漁連の理事に、28年には同副会長理事に就任、29年からは国の水産政策審議会委員を務めるなど我が国の水産業界発展にも貢献した。

このような功績により、平成21年度には佐伯市長表彰及び大分県知事表彰を受賞、23年度には第26回全国漁協運動功労者表彰、また29年度には大日本水産会水産功績者表彰など数多くの賞を受けている。

祝賀会は発起人の戸高吾一郎県漁協理事の発声で開会し、発起人を代表して中根隆文県漁協組合長が山本氏の功績を紹介し、「本人や家族は勿論、我々県水産業界にとつてこの上ない名譽」と述べた。次いで、来賓の広瀬勝貞県知事、衆議院議員衛藤征士朗氏、同岩屋毅氏、参議院議員衛藤晟一氏及び坂本雅信全漁連会長が祝辞を述べ、それぞれの立場から業績を称えた。

山本氏に記念品が贈呈され、山本ご夫妻に孫たちから花束

が贈られた。山本氏は「受章は皆様のご支援、ご芳情の賜であり、今後はご厚情に報いるべく微力を尽くす」とお礼の言葉を述べた。

田中利明佐伯市長の乾杯で祝宴に入り、馬場子供神楽による「岩戸開き」が披露され、会場を盛り上げた。

阿部英仁自民党県連会長による万歳三唱の後、発起人の橋本道夫県漁協下入津地区漁業運営委員長が閉会の言葉を述べ、祝賀会は盛会裏にお開きとなった。受章された山本氏ばかりでなく、県漁協関係者にとつても生涯の記憶に残る喜ばしいひとときとなった。

経営の存続に最大限の支援を 台風14号により佐伯の養殖業に甚大な被害発生



非常に強い勢力で九州に上陸した台風14号により、佐伯市の養殖業が被災し、ブリ等の養魚が大量に死亡し、ヒラメ陸上養殖施設が倒壊した。被害額の詳細は調査中だが、養魚と施設等を合わせ甚大な金額となると見込まれる。

被害が大きかったのは、ブリ類の海面養殖とヒラメ等の陸上養殖が営まれる入津地区で、暴風や波浪により養殖施設が被災するとともに、生け簀を避難した入津湾内で、酸欠によるブリ等の大量死が発生した。

同地区は三代目の後継者が経営を継承し、若い個人生産者も多い地区だが、在池の8割以上を失ったとする経営体もあり、今後の生産の維持、経営の存続が懸念される。

このため、中根組合長はブリ等

の大量死が発生した直後の18日には上入津支店に生産者を訪ね緊急協議を行い、20日には豊後水道全域の被害状況調査を、22日には県の南部振興局農山漁村振興部長及び佐伯市長との対策協議を重ねた。また、23日から24日にかけては、緊急に現地入りをした水産庁増殖推進部の広野部長にも状況を説明し、窮状を訴えた。

今回の被害の中心となったブリ類は、「農林水産物・食品の輸出拡大戦略」におけるマーケットイン型の輸出重点品目の一つであり、国は輸出額を倍増する計画を掲げている。この中で、全国第2位の生産をあげる本県はブリ類の輸出産地に指定され、県漁協は実施主体の事業者となることが認められ、5年度のGFP産地加工施設の整備に向け本年度は実施設計を行っている。

このような状況に鑑み、甚大な被害を受けた個人経営体が、今後とも生産を維持し、経営を存続出来るよう、29日の自民党大分県連に対する要望に緊急追加し、最大限の支援を要請した。

水 研 だ よ り

水産研究部で魚類養殖のための
漁業学校が開校される！

大分県漁業への就業を希望する方に対して、漁業に対する知識や技術の習得等に関する研修を実施するため、県と県漁協とが連携して漁業学校を運営しています。

令和4年度は漁船漁業3名、魚類養殖業1名の計4名が研修中で、水産研究部と北部水産グループでも受け入れています。

水産研究部では8月27日に今年度初めて魚類養殖業の就業を目指す研修生1名に対し「種苗生産技術」の授業で、現在資源増殖チームが取り組んでいるブリの人工種苗生産について講義と実習を行いました。天然モジャコによる今のブリ養殖では4～6月は、3年目のブリは産卵期のため身質が不安定となり、2年目のブリは出荷サイズ(4kg)に満たないため、出荷量が落ち込む「端境期」となっています。この出荷の「端境期」に、サイズが4kg以上で高品質なブリに仕上げるため、天然と産卵期を半年ずらした8月採卵によるブリ人工種苗生産の研究について担当研究員が説明を行いました。今回の講義に参加した研修生は非常に興味を持ち、熱心に意見交換を行っていました。

今後水産研究部で行う漁業学校のカリキュラムとしては魚類栄養、魚病等の座学や魚病診断等の実習が予定されています。

就業希望者が研修終了後、円滑に就業できるよう水産研究部もできる限り協力していきます。



写真1 講義の風景



写真2 現場視察1



写真3 現場視察2

28日、日出市の大神漁港において漁船無事故「チャレンジ100」の宣誓式が行われ、今年も100日間の海難事故防止の取組がスタートした。

大分海上保安部管理課の工藤渉外官は、過去5年間の海難事故245件のうち約31%が漁船の事故と指摘。100日間の無事故を目指すと共に、安全操業で漁獲された地元魚を広く県民に届けようとの趣旨を説明した。

県漁協の中根組合長は、「昨年度に引き続き全面的に本運動の趣旨に賛同し、全ての支店、取次店が本運動に参加登録した。安全操業のみならず、地産地消につながる運動となることを希望する」と挨拶。次いで県農林

次いで、県漁協日出支店の組合員が「安全操業しよんけん、城下かれい食べちよくれ。」とチャレンジ宣誓し、大分海保、県及び県漁協の三者で安全操業への決意を新たにしました。すべての組合員の皆さんの積極的な取組をお願いします。



中根組合長による挨拶と日出支店組合員の宣誓

水産部長代理の倉橋参事は、「無事故の達成を祈念するとともに、コロナが収束し水産物の消費が早期に回復することを期待する」と激励した。

「安全操業」しよんけん！
城下かれい
大分美味しい海産物を食べちよくれ！
★秋季から冬季にかけての「100日間」漁船の事故「0」を目指して安全に操業します！
2022 2023
10/1 ~ 1/8
大分県海難防止強調運動推進連絡会
大分県漁業協同組合・大分海上保安部・佐伯海上保安署
(後援) 大分県
(協賛) 海上保安協会大分支部

令和4年度・第2回 ロケット打ち上げ事前協議

令和4年度のロケット打ち上げに関する第2回事前協議が14日、別府市内のホテルで行われた。文科省研究開発局、宇宙航空研究開発機構(JAXA)、三菱重工業(株)、大分県漁業管理課並びに県漁協の本店及び関係3支店が出席した。

文科省の上田宇宙開発利用課長及び大分県ロケット打ち上げ対策委員会の大河会長の挨拶のち議事に入った。

議事1「ロケットの打上げについて」では、令和4年度上期のロケット打ち上げ結果についてJAXAより詳細に説明があった。

また、4年度下期及び5年度の計画について説明があった。4年度下期については、第1回事前協議時に種子島宇宙センターからの打上げ計画が分かり次第追加協議するとしていたH3ロケット

試験機1号機に加え、再設定となったイプシロンロケット6号機の打上げについて説明があった。5年度については、H-IIAロケット47号機及び以降に調整中の案件について説明があり、すべて了承された。



はなつぎ網の影響 水産機構評価せず サワラ瀬戸内海系群

本年度第1回の資源管理漁業者協議会が27日、ウェブ開催された。本県からは、漁業者代表委員として日出地区漁業運営委員の北野和貴氏、漁協委員として本庄が参加した。

議事では、関係11府県が春漁の操業状況について報告し、水産研究・教育機構が前年度の資源評価について説明した。これによると、2021年の資源量は1万218トンと前年の9908トンより増加と推定された。

次いで、今後の広域資源管理の方向性について検討し、意見を交換した。

まず、近年漁獲量は減少傾向であり資源評価の結果は理解しにくい旨の発言があった。

また、はなつぎ網の漁獲圧を巡り意見が交わされた。資源への影響を危惧する地域がある一方、水産庁は「全体としてサワラ資源は増えており影響ない」との立場を示した。さらに、はなつ

ぎ網の操業地域から「資源に悪影響を及ぼすとの調査結果はあるのか」との質問に対し、水産機構は「漁業種類別に資源に与える影響を評価してはいない」と回答。「はなつぎ網が資源に影響を与えていると判断されれば規制を考えると」とした水産庁発言は何だったのか」との厳しい指摘もなされた。

このほか、「瀬戸内海広調委の意見を聴かないのか」と水産庁の手續きの不備を指摘する意見も出された。

特定の漁業が資源に与える影響が評価できないのであれば、個別の規制もかけられないことになる。能動的漁業による獲りすぎを危惧する漁業者の理解は得られそうにない。

令和4年度大分県農林水産祭の開催を決定

～昨年引き続き別府公園で合同開催～

令和4年度大分県農林水産祭実行委員会(会長:広瀬勝貞大分県知事)が書面により開催され、10月22日(土)・23日(日)の両日、別府公園会場において農業・林業・水産部門合同で開催されることが決まった。

水産部門では、県漁協の6支店、2青年部及び2女性部が特産水産物を販売するほか、県立海洋科学高と4商社も出展を予定している。昨年の経験を踏まえ、来場者に「大分の水産」をアピールできるよう取り組みたい。

水産部門 販売品目(予定)一覧

県漁協(支店本店)	
中津支店	ひがた美人加工品、ハモ加工品等
国見支店	たこ唐揚げ、たこめし、サザエ旨煮等
杵築支店	骨切ハモ(冷凍)
佐賀関支店	あじ、さば、ぶり類、タチウオ等
保戸島支店	マグロブロック(冷凍)
蒲江支店	緋扇貝、蒸し緋扇貝、水産加工品等
本店	保冷剤、保冷バッグ

県漁協(女性部)	
佐賀関	昆布巻き、白身フライ、あら炊き等
下入津	魚の干物、ブリカマ(冷凍)

県漁協(青年部)	
くにおさき	ヒジキ、アオサ、ボイルタコ(冷凍)
日出	えび、かに、たこ、たい、ぶり、あじ等

海洋科学高・商社	
海洋科学高	マグロの油漬缶詰、おさかな小判
(株)桃太郎海苔	海苔、椎茸、温泉水他
本芳食品	ちりめん、いりこ、アジ開き等
(株)藤田商店	ちりめん、かえりちりめん、いりこ
(有)上野水産	ガザミの味噌汁、鰻かつ、イカ焼等

※販売品目については現時点での予定を掲載しています。荒天等の影響により掲載の品目が販売できない場合や、品目が変更となる場合があります。

県漁港漁場協会 令和4年度定時総会開催



大分県漁港漁場協会は2日、県水産会館において令和4年度定時総会を開催した。コロナ感染防止のため委任状の提出を推奨し、会員41人中、本人出席9人、委任状32人で総会は成立した。

冒頭、藤本昭夫会長は「長引くコロナ禍、急激な円安等により、高級魚介類の販売不振、燃油の高騰など本県水産業は多くの課題に直面している。このようなか中、国には5年を一期とした新たな長期計画を策定していただいた。この計画では、海業の

振興など新しい施策が盛り込まれている。漁村の課題解決のため関係団体と連携を密にして必要予算の確保等に努める。また、10月には全国大会が函館市で開催される。皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶した。

別府地区漁港漁場整備協力会の豊島功会長を議長に選出し、議事に入り、令和3年度事業報告及び収支決算、令和4年度事業計画及び収支予算案並びに会費(案)、補充役員の選任の全議案について、原案どおり承認された。補充役員では退職した景平真明氏の後任の高野英利審議監が理事に就任した。

8月24日、第5回理事会を開催した。

第1号議案「組合員の異動について」、第2号議案「総会の部会の開催について(別府支店)」及び第3号議案「香々地地区漁業運営委員の補欠選挙について」説明があり、いずれも原案のとおり承認することに決した。

次いで、協議・報告事項として、①余裕金の運用状況報告について、②公認会計士監査移行に向けた関連当事者取引の管理体制構築について、③第1四半期～7月末までの収支状況について説明があった。

このうち②は、全漁連全国監査部からの依頼で、公認会計士監査移行に向けた内部管理体制構築の一環として、関連当事者取引の把握・管理体制が必要となり、その対応を要望されたもの。具体的には、役員に対し2親等以内の親族のリスト提出を求められた。これに対し、全ての親族の名前を出せと言うのは行き過ぎ、法的根拠はあるのか等の意見が出され、監事が全国監査部に問い合わせるなどにより次回理事会等で再協議することとなった。③では、7月末時点で、前年に比べ6千万円プラスとの状況が示された。

挨拶する藤本会長

中津ハモの日制定1周年！

11日の日曜日、中津市小祝漁港において「市民おさかな感謝デー」が賑やかに開催された。中津ハモの日を記念した加工品の詰め合わせや中津ハモ重弁当が特価で販売されたほか、テイクアウトコーナーではハモカツバーガーなどが人気を集めた。「やまくに軽トラ市」による野菜販売や「親子競り体験」も同時開催され、夏の思い出に残る1日となった。

中津魚市場（末松八起代表）が用意した中津ハモ重はすぐに完売し、急遽追加で準備したとのこと。

会場には、中津市や県北部振興局の職員も多数参集し、県漁協中津支店とともにイベントを盛り上げていただいた。

中津ハモの日が地域に定着し、豊前海の魚の地産地消に一役たつてもらいたい。



(上)親子競り体験
(右上)会場
(右下)中津ハモ重



インボイス制度をご存じですか？

令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式として「インボイス制度」が開始されます。

「インボイス制度」とは、「適格請求書保存方式」のことをいいます。所定の記載要件を満たした請求書などが「適格請求書(インボイス)」です。インボイスの発行または保存により、消費税の仕入税額控除を受けることが可能です。「インボイス制度」は売り手側、買い手側双方に適用されます。インボイスがなければ、消費税の納税額から、仕入れ・経費に掛かる消費税を差し引くことが、認められなくなります。(詳しくは、国税庁のパンフレットを参照下さい。)

消費税

知っていますか？インボイス制度

適格請求書発行事業者の登録申請を受付中！

登録を予定されている方/ **もう始まっています！**

多くの事業者の方が登録申請をされています！

早めの登録を受けることで、取引先へのお知らせがスムーズに！

- 令和5年10月1日から、消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が始まります。
- インボイスを発行するためには、登録申請が必要です。
- 登録を受けると、税務署から登録年月日や登録番号などが通知されます。



登録申請手続は、e-Tax をご利用ください！

- ☑ e-Taxで登録申請手続を行っていただくと、書面で申請された場合に比べて早期に登録通知を受けることができます！
- ☑ e-Taxで申請した場合、電子データで登録通知を受け取れます！電子データで受け取れば紛失のリスクがありません！



個人事業者の方はスマートフォンからでもe-Taxで申請できます。e-Taxのご利用には事前にマイナンバーカードの取得が必要です。

インボイス制度説明会 申込受付中！

インボイス制度が始まったらどう変わるの？

その疑問にお答えします！

オンライン説明会を開催中！

職員が制度の説明をいたします。毎週開催！随時、申込受付中！質問もチャットで受付！

全国の国税局・税務署でも説明会を開催！

オンラインが苦手な方も安心！各国税局HP又は最寄りの税務署までお問合せください。※各国税局HP内の「税に関する情報」のインボイス制度説明会をご参照ください。

説明会に参加できない方は、動画で確認！

スマートフォンやパソコンから過去の説明会の動画をご覧いただけます。



インボイス制度について詳しく知りたい

国税庁HPの「インボイス制度特設サイト」に制度の概要、Q&Aや申請手続に関する情報を掲載しています。

※インボイス制度に関する申請書等を書面で提出される場合は、「インボイス制度特設サイト」から所轄のインボイス登録センターを確認し、送付してください。



インボイス制度についての一般的なお問い合わせ

軽減・インボイス 電話番号 0120-205-553(無料)
コールセンター 受付時間 9:00~17:00(土日祝除く)



益々充実！～JFおおいた おさかなチャンネル

動画投稿サイト「ユーチューブ」の公式チャンネル「JFおおいたおさかなチャンネル」が楽しい。「みんなでチャンネルジックキング」のシリーズに、特産水産物の時短レシピが次々とアップされている。

かぼすヒラメを使ったお刺身、カルパッチョ、ムニエルと続き、9月末にはイカの刺身も加わった。

地元タレントの野口真美さんがおさかなランドの魚介類を購入し、声優さんの指示に従って調理していく。指示役にはアニメ「うる星やつら」の人気声優、古川登志夫さんと平野文さんを起用した。

これからも、イカ、カンパチ、タイ、アジなどを順次公開する。県農協の農産物や富士甚醤油の調味料ともコラボしていく。

楽しく簡単な時短レシピが地産地消や魚食普及に繋がってほしい。



動画のQRコード

絶品! **お刺身**
かぼすヒラメの
古川 登志夫

簡単でヘルシー!
かぼすヒラメの
カルパッチョ
平野 文

古川 登志夫 平野 文 **が教える!**
かぼすヒラメの **ムニエル**

逸品 **お刺身**
いかの
古川 登志夫

新感覚!
いかとニラの **ユツケ**
平野 文

古川 登志夫 平野 文 **が教える!**
いかと明太子の **和風スパゲッティ**

古川 登志夫 **お刺身**
カンパチの
脂が旨い

圧倒的
ボリューム
サラダ
カンパチの
平野 文

古川 登志夫 平野 文 **が紹介!**
カンパチの **しゃぶしゃぶ**

古川 登志夫 **が教える!**
鯛の **お刺身**
冊で作る

超簡単!
鯛の **昆布締め**
平野 文

古川 登志夫 平野 文 **が教える!**
鯛の **ごま漬け丼**

古川 登志夫 **が教える!**
美味 アジの **お刺身**

酒の肴に!
アジの **たたき**
平野 文

古川 登志夫 平野 文 **が紹介!**
アジの **大葉巻きフライ**

人事異動

10月1日付けの人事異動を
発令しました。

【本店】▽総務部経営管理課係
長(保戸島支店購買課係長)中
村景

▽経済事業部販売課臨時(新規
採用)廣戸鳳馬

【臼杵支店】総務課嘱託(相談
員)古川和哉

【保戸島支店】購買課臨時(新規
採用)石田伸明

【佐伯支店】支店長(支店長代
理)神田豊弘、専門員(支店長)
清家修

【鶴見支店】信用資金課長補佐
(購買課長補佐 桑原博之、購
買課主任(信用課主任)三井亮
太、販売課嘱託(総務課相談
員)川井浩

9月の県産魚の日は「練り・ねり・ネリ」フェアと銘打って「すりみ」を特売！
調理が簡単で、いろいろな料理に使える
「すりみ」は便利で美味しい食材。
お客様にも好評をいただきました。



9/22(水)
大分県産魚の日
今回は前日！

さかな屋のすり身

**練り！
ねり！
ネリ！**

つエカ

おさかなランド



レストランからの眺めも最高

海の眺めも素晴らしい「かまえ
インターパーク」の登場です。
「海への市」には産直の鮮魚、活
魚そして加工品の品揃えが多く
魚好きにはたまりません。
「海のレストラン笑魚」のメ
ニューも充実していますが、今回
は「地魚フライ定食(850円税
別)」。熱々でボリュームがあり、
何より地獲れの新鮮な魚の味は
抜群です。

お金のある方は、伊勢えびや
岩がきもぜひお試し下さい。

サカナをたべれば
幸福が見えてくる

オメシ ウメシ



編集後記

1月の地震災害の傷跡も癒え
ない9月、台風14号は県南地
域の養殖業を中心に甚大な被
害を及ぼした。被災された組合
員の皆さんに心からお見舞いを
申し上げるとともに、生産の継
続に向け行政の支援を仰ぐ
など、全力で対策を講じたい。

組合員の生産が続かなければ
漁協の経営もできないとの認識
のもと、本店も組合長を先頭に
たびたび現地赶赴したが、上入
津の被災地では蒲江支店の職員
が休日返上で片付け作業を行っ
たと聞く。頭が下がる思いとと
もに、これからの広域連携のあ
り方が、危機管理の中から見え
てきたように感じた。

先の総会でも指摘されたよう
に、県漁協の組織と業務の効率
化は待ったなしの課題であり、
真に組合員のためになる改革を
進めなければならぬ。

9月は出張が多く編集が進ま
ず、発行が遅れたことをお詫び
します。



早期復旧と生産再開を